

体験グローバル
「広島大学大学院国際協力研究科 藤原章正先生」の講演を行いました。

2016年4月26日7時間目に4年生を対象に、広島大学大学院国際協力研究科の藤原章正先生にご講演いただきました。

講演では、広島大学が行っている「たおやか（TAOYAKA）プログラム」の取り組みから、これからのグローバルとローカルの視点・考え方を持ち合わせていくには、“オンサイト”（現場に赴くこと）、“リバーズイノベーション”（現場が必要とする技術を開発すること）が重要であることを話してくださいました。

講演の最後には、グローバル化する世界の中で生きていく生徒に向けて、世界に飛び出すことに躊躇してしまいがちであるが「深い好奇心と、適度な楽天性をもって」その一步を踏み出してほしいと生徒を後押ししてくださいました。



以下に講演を受けた生徒のアンケート結果をまとめました。

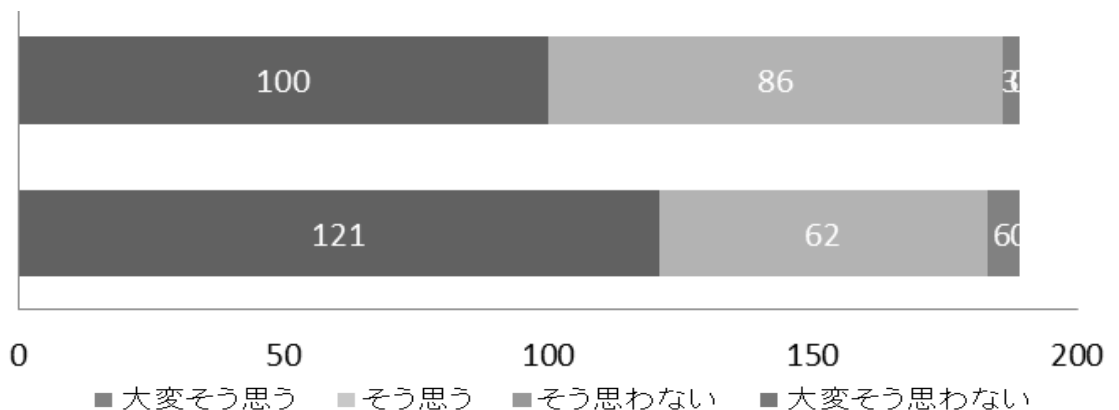
質問項目

1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。

集計結果
*総数 196

質問 1

質問 2



自由記述 講演から学んだこと、考えたことを具体的に記述してください。

○進んだ技術を取り入れることが全てではないことが分かりました。地域に合わないことを無理に押し進めると逆に地域を苦しめてしまう。だからこそオンサイトが必要になってくることも分かりました。ジレンマ問題のような場面が世界規模で発生していると分かったので、客観性を持つことの大切さも学ぶことができました。

○「トップダウンイノベーション」に対して、僕は当たり前のことだ、最善の策だと思っていたが、実際は問題点があり、それを解決する「リバーズイノベーション」という方法に驚かされた。また、様々なジレンマ問題についても、「問題を起こしながら発展してきた先進国が、発展途上国に対して注意するのはおかしいのではないか」という先生の投げかけは確かにそうだと思った。しっかりと途上国を支援していく方法を考えなければいけないと思った。

○オンサイトとリバーズイノベーションはとても興味深いと思いました。技術が適応する現場を探すのではなく、現場に適した技術を開発するという考え方は、今の自分の生活にも生きてくると思います。「とりあえず勉強する」のではなく、目標を設定して勉強に取り組むことができるようになりたいと思いました。大学や社会についての話も多く、将来についても考えるいい機会になりました。

○ただ学ぶのではなく、もっと周りを見て、そして未来のことを考えて、やるべきことを決めていくことの大切さがわかった。これからの社会を考えていくうえで目の前のことだけを見つめるのではなく、全体を、そして全体だけでなく現場のことをしっかり考えていけるよう、いろいろな発想を持てる人になっていきたい。



○私のイメージしていた「理系は理系」「文系は文系」というものではなく、あらゆる分野の人々が一緒に問題を解決しようとしている映像を見て「これこそが本当の学びなのだ」と思った。先生が言われていたように「文系だから理系のことは知らなくていい」という考えはもう時代に合わなくて、幅広くたくさんの知識・経験が求められていることを知り、適度な楽天性を持ってこれからの社会を生きていけたらと思いました。

○「立場が変われば意見が変わる」のたとえ話がとても分かりやすかった。その話の中で出てきた“レイトカマー”の考え方も新鮮でした。不可能であると思われていることでも可能になるような答えを導き出せるような柔軟さが大切だと思った。

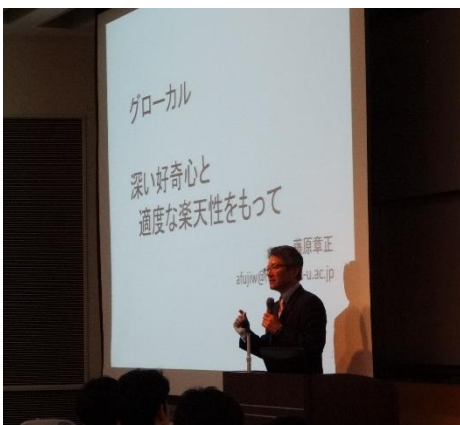
○本や資料などの一方的な意見や事実を見たり聞いたりして自分は日々の生活を過ごしているけれど、それだけではない裏の一面を実際に足を運んで、五感でとらえることが必要だし、それが重要になってくることが分かった。典型的な考え方だけでなく、その場に合った考えを持てるようになりたい。

○世界の問題を自分たちの生活につなげていく、それくらい現代社会において世界と自分の生活が近くなったのを感じました。一見正解だと思える行為も、使う環境によっては不正解にもなります。だからこそ、その環境のことをよく知り、技術を提供することがとても大切であることが分かりました。どんな相手に対しても、上から目線になるのではなく、同じ目線で物事を考えられるようになりたい。



○自分の身の回りを少し注意してみるだけで、利便性の裏に隠れている問題や格差が見つけれられることに驚いた。「物事を多角的に見よう」とか「クリティカルシンキング」とかを考える機会はたくさんあったのにまだ周囲に注意を向けられていないことを実感した。今後の学習を進めるうえで自分にはない発想を得る機会はとても貴重で、そのような機会を大事にして自分の中身を深めていきたい。

○「適度な楽天性を持って」ということはとても大切だと思った。グローバルに考えるとなると、グローバルな考えと、ローカルな考えに挟まれてしまうこともあると思う。その中でもこの考えの通り、前に進んでみることで社会がより良くなる方向につながっていくと思いました。



○「現在の最適解」と「人生の最適解」は違うかもしれないし、「日本の最適解」と「世界の最適解」は違うかもしれないし、「ローカルの最適解」と「グローバルの最適解」も違うかもしれない。そのことを頭に入れて物事を考えていきたいと思った。

○探せば身近にもたくさん問題がある。その問題をきちんと解決する必要がある。立場や文化などから意見は変わる。全員が喜べる答えは難しくても、全員が納得できる答えを見つける必要があると思った。広い視野を持ち、一人ひとりがベストを尽くす必要があると思った。